



Bulletin

# The Lions Times

District 335-C



ザ・ライオンタイムズ  
(335-C地区機関紙)  
発行日●2008年5月1日  
発行者●ガバナー 須藤眞志  
発行●ライオンズクラブ国際  
協会335-C地区PR・  
情報・IT委員会  
編集者●地区PR・情報・IT委員長  
黒川良三(京都とわくL)

事務局●〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路 リーガロイヤルホテル京都3F 364号室  
TEL (075) 344-0258 FAX (075) 344-0277

●インターネットホームページ <http://www.335c.com/>  
●Eメールアドレス [lions@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:lions@skyblue.ocn.ne.jp)

## 全国34の準地区のトップを切って4月5日(土)

# 335-C地区 第54回年次大会開催さる!

2008年4月5日(土)・国立京都国際会館



クライマックス! ノミネート方式によるガバナー賞の発表!



代議員総会全景



委員会風景

## 代議員総会

ライオンズクラブ国際協会335-C地区  
地区ガバナー 須藤 眞志

4月5日の335-C地区年次大会が大成のうちに終わること、大変うれしく思っておりますと同時に、大会の運営に当たられました堀内宗心大会委員長をはじめご協力くださった皆様に深甚なる御礼を申し上げます。本当にご苦労様でした。

ライオンズクラブは、今年度の大会は、これまでの大会にない盛り上がりを見せました。この時には熱いものがこみ上げ、ガバナー冥利に尽きる感激を味わいました。本当にありがとうございました。

近々ライオンズクラブは、今ひとつ活気に欠けるという批判もあるなかで、今回の年次大会はそのような批判を吹き飛ばす素晴らしい大会でした。しかも会場となった国際会議場の庭園は満開の桜で彩られ、素晴らしい好天気にも恵まれ、多くの方々が十分満足されたことと確信いたします。これも335-C地区メンバーの目まぐるしい精進のおかげでしょう。

私のガバナーとしての大役もほぼ終わりました。次年度は橋本ガバナーエレクトの下、新たな出発を期待しております。



提案



名誉顧問の方々



開会ゴング



ほっこり!



開票作業は大変です



厳粛に投票



司会 林地区幹事



## 式典



国歌斉唱



厳かに開会宣言



素晴らしい一日の始まり

## 年次大会を終えて

年次大会委員長 堀内 宗心

本年度年次大会は、4月5日、桜花爛漫の洛  
北京都国際会館に於て盛大に行われました。午  
前中代議員総会、午後0時50分、人間国宝七茂  
山千作とその一座の方々により狂言「福の神」  
が演ぜられ、引き続き大会式典、夕刻懇親会と  
なりました。

ガバナーによる年次報告も、大きいスクリー  
ンを使つて分かりやすく、本年度は表彰の数が  
多く、会員の疲れを案じましたが、かえつて関  
心も強く、次期ガバナーエレクトの選出や、最  
優秀賞授賞式まで、良く雰囲気保たれて居り  
ました。参会の皆様へ深く感謝申し上げ、運営  
に御協力いただきましたホストクラブ、準ホス  
トクラブの皆様へ厚く御礼申し上げます。

会場には別に茶席を設けて居りました。

掛物 江月和尚 鶯逢春暖歌声滑

(立札卓にて)

釜 眞形釜

風炉 朝鮮風炉

水指 マイセン

茶器 即中斎好柳桜大棗

茶碗 覚入作赤 銘 碧雲

茶杓 而妙斎共筒 銘 長生殿



ようこそ！



登録部会は忙しい

まさに桜花爛漫！  
春の日ざしの中、開会を待つ

呈茶席でおもてなし



身も心も和みます



この構図なかなか工工なあ



来年は、ウチも頑張ろう！

堀内宗心御一門の方々  
本当にお世話になりました

太郎冠者 次郎冠者



狂言「福の神」



人間国宝 L茂山千作





各委員長 表彰



橋本ガバナーエレクト誕生



ボスコン表彰



歓迎の言葉 堀内大会委員長



佐藤副地区ガバナー



表彰式



ご来賓 山田京都府知事



花束の贈呈 よろしゅうに！



今年はミスきもの女王がお手伝い



ご来賓 門川京都市長



更なる発展と結束を誓って！



次年度から5RIは3Zに分割



ご来賓 谷野国際理事



次期ホストクラブ会長挨拶



森内委員長リーダーシップ賞を獲得



ご来賓 国際理事会アポイントル福井



# 式典



謝辞 洛陽LC松野会長



また会う日まで♪



ガバナーより1年間の労をねぎらって感謝状贈呈



初めての試み 123クラブ登壇



京小町踊り子隊による華やかな幕開け

## 慰労懇親会



懇親会場へご案内



はれやか〜!



市田さん 来年よろしく  
中塚大会事務局長もホッコリ!



ほっとされたのか 和やかなお顔です



林地区幹事、島田地区会計 お疲れ様でした



懇親会お世話様でした



お二人の間でも奥様は動じず



堀内大会委員長 大変洒落たスピーチでした



山口2RRCP 中締めのご挨拶



1年間で苦労様でした



佐野1RRCP 乾杯のご発声



## 335-C地区 5R IT講習会 舞鶴にて開催



2月18日(月)、IT研修会が5Rのアシスタントを中心に舞鶴市商工観光セン

ターに於て開催されました。当日は前夜来の大雪で、足もとの悪い中にも拘らず11名の熱心な

アシスタントの参加を得ました。黒川委員長の挨拶の後、田公講師により335-Cホームページ・ブログへの投稿の仕方、記事添付写真の縮小の方法等が熱心に指導されました。また今後クラブごとにブログ形式のHPが開設出来るよう、टीエイタイムを挟んで2時間びつりの講習会が行われました。事務局の横山さんによると「バッチリ勉強できました」と云う事でした。多分全員のアシスタントさんが、理解し

習得出来たものと確信しています。研修会場、昼食会の設営など、舞鶴クラブ特に事務局の小森さんには大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。



2月22日(金)奈良県広域地場産業振興センターで、8R・9R内のIT講習会が行われ、多数のアシスタントの方が参加されました。

和気あいあいの雰囲気の中、楽しく又、熱心に講習が行われ、最後には“これでブログもバッチリ!”というような力強い?声も聞かせていただきました。

皆様、長時間お疲れ様でした。m(\_ \_)m  
尚、講師の先生は、有限会社ヒューマンウェブの田公先生です。



## ライオンズクラブ335-C 8R・9R IT講習会を終えて

## IT講習会始まる



IT講習会が始まる。昨年度、好評で、本年度も各クラブのアシスタントを対象に幅広くパソコンを利

用していただくために、IT講習会の開催を始めました。まず、1月24日午前10:00より1R2Rを対象に、午後13:30より3R4Rを対象にリーガロイヤルホテル京



## 1R・4R IT講習会

都で行われました。当日は、黒川委員長の挨拶の後、杉山副委員長の指導のもと、わ

かり易く丁寧にパソコン3台を使つての実践を交えながらの講習でした。アシスタントの方々も、真剣な中にも和気あいあいと熱心に受けておられました。

## 6R・7R(滋賀) IT講習会開催



3月7日(金)、草津市のホテルポストンブラザにおきまして、地区内24クラブ事務

局A・S全員にご参加頂き、標記講習会が開かれました。担当委員長黒川良三の開会の挨拶の後、昨年引き続き、副委員長杉山大門と(有)ヒューマンウェブ田公史博氏を講師として講習会が開始されました。

休憩を挟んでの2時間の講習会は、更新の速さと容易

さという「ブログ」の特徴の解説から始まり、地区への記事及び写真投稿の方法から写真の「縮専」等、3台のパソコンを駆使して実際に送信を試みるなど、予定時間ギリギリまで熱心に講師の田公氏に疑問点を質問する姿が見られ、意義ある講習会でした。





# 冬期Y.E来日学生レポート

## Japan Exchange-Winter

ケイトリン・ユード (オーストラリア)

Caitlin Yuede

第一ホストファミリー……吹田 宏海様  
第二ホストファミリー……岡本 秀和様

ホスト……京都堀川LC  
ホスト……園部LC

12月3日オーストラリアを出発し、4日の夜、他のY.E学生と共に東京の空港のホテルに着きました。次の朝、第一ホストファミリーに会うため大阪へ行きました。同時に私はとても緊張し興奮していました。

第一ホストファミリーの代わりにライオンズクラブのメンバーの方が私を迎えに来てくれていました。私は中村さんと佐々木さんに案内されランチに行きました。彼らはその後もたびたび私をいろいろなところへ連れて行ってくれました。

これから3週間滞在するとうお寺に着き、私はその美しさと静けさにびっくり仰天しました。そこには素晴らしい石の小道と、赤や黄色の様々な形をした日本のモミジがありました。そのお寺はとても古く、500年以上も前のものと聞きました。私はホストファミリーのお父さんとお母さんを紹介され家の中を見せてもらいました。私の部屋は必要なものがとてもとてきれいに整えられていて、しかも私がオーストラリアの家族とインターネットで連絡ができるコンピュータもあり、それは最高でした。私はその夜は落ち着き、ホストファミリーと一緒に

に過ごす間のスケジュールを開きました。

第一ホストファミリーと一緒に周辺の寺や100の有名な詩を提供する著名なホールを訪れました。また私は生け花を体験しました。そして銀閣寺へ行きました。それは驚くべきところでした。また着物を着てみたりお茶を体験したり、もちろん買い物も！

最初の3週間、私はアマンダを紹介されました。彼女はライオンズクラブのY.E学生としてニュージーランドから来た一人でした。私達は共に楽しい時間を過ごしました。12月20日、アマンダと私はライオンズクラブのキャンプに車で行きました。私たちはキャンプについて全く知らなかったのでも驚きました。キャンプではマレーシアやペルー、ヨーロッパ、シンガポールから来た多くの学生達に出会いました。世界の様々な人々と知り合うことができ、このキャンプは私にとってとても貴重な体験でした。



私はキャンプから戻り、ライオンズクラブのクリスマスパーティに直行しました。それは第一ホストファミリーとの最後の行事であり、第二ホストファミリーとの最初の行事でした。

第二ホストファミリーは私に對しとても親しみやすく素晴らしい仲間でした。ホストファミリーには私と同じくらいの子供達がいまして、彼らともすぐに打ち解けました。クリスマスは第二ホストファミリーと過ごし、とても楽しかったです。大阪の水族館へ行ったり、ボーリングやカラオケ、もちろん買い物も何度も行きました。お正月には山にある神社に行きました。その日は晴れていましたがとても寒かったです。そして1月11日に、オーストラリアの料理をお礼に作ることになりました。

私は日本での時間は実際よりすごく長く感じ、それは私が今まで感じたことのない素晴らしい体験でした。そして本当に日本が好きになりました。何年後かに再び訪れたいです。

私を推薦してくれたライオンズクラブ、日本のライオンズクラブ、そして忘れることのできない素晴らしい日本での滞在を提供してくれたホストファミリーに感謝いたします。

## 文化と発展が交錯する国・日本

デイン・サー・アン (マレーシア)

Ding Tze-En

第一ホストファミリー……松廣 正博様  
第二ホストファミリー……土手 英範様

ホスト……京都華頂LC  
ホスト……京都東LC

日本、それは文化と発展が交錯する国。私は、幸運な事に2007年日本への交換留学プログラムに参加することができました。私の滞在は2007/12/16から2008/1/6までの3週間でした。私は京都で2つのホストファミリーにお世話になりました。それは松廣ファミリーと土手ファミリーです。私は本当にただ日本の文化を学ぶだけでなく、日本人の生活を学ぶことができ、とても素晴らしい時間を過ごすことができました。私は、私にこの素晴らしい体験のドアを開けて下さったライオンズクラブにとても感謝しています。

私の日本での3週間の滞在中で、私は神戸ライオンズクラブの3日間キャンプに参加しました。それは他の交換留学生と知り合ったり、一緒に色々な経験をしたり、とても楽しいものでした。京都や神戸を訪れ、私の国の文化財や建築についてのとらえかたが変わりました。

素晴らしい建築は寺院やビルに見受けられますが、日本の典型的な家屋にも見受けられます。私は特に神戸にあった姫路城を楽しみました。日本の賢者は外敵から守る為、色々な細工や罠を仕掛けていました。

日本の食べ物はとても「Osana」(美味) かったです。滞在中に

私はウドン・蕎麦・寿司・豆腐・緑茶・牛肉・その他試す事ができました。他にも私を驚かせたのは、とても美しく盛り付けられていた事です。私は色々なスタイルで盛り付けられているのを見ました。色んなパターンや色がありました。ほとんどは季節に合わせてものだと思うれました。それに私は、大晦日に餅を作る体験もできました。

着物というのは女性が本当に美しく見える伝統的な服です。ライオンズのクリスマスパーティーで私は着物をそれに合わせた靴と履物で着る機会があり、それは本当に日本の女性の様に着飾る事ができ、とても素晴らしい経験になりました。そして又それは別に、私の初めのホストファミリーは私に舞妓の様に着飾る機会をくれ、着物の締まった感じや、白く顔を塗ったりするのとはとても楽しく良い機会でした。

日本人々はとても礼儀正しく、それは例えば挨拶をするとき「こんにちは」であったり、食事前の「いただきます」であったり、とても礼儀正しく行儀が良いのを見かけました。そして彼らはとても親切です。私は両方の家族に私を温かく迎えてくれた事を感謝したいと思います。彼らのおもてなしの心と優しさは私の旅をとて良いもの

にしてくれました。そして又、町の清潔さに驚きました。私は本当に清潔さを保っている日本人を尊敬します。そして公共の道にも公衆トイレがあるので。京都は甚盤の目になっており、過去と現在が同居する町でとても私には興味深い町でした。

日本のテクノロジーはとてよく世界中に知られていますが、ここにいると本当にそれが感じられます。私の大阪への旅の間に道路の上を走る高速にはとても驚きました。それにしてもとても整備されているのです。そして、公害汚染も低く、それにも驚くばかりです。なんと先進国の素晴らしいところでしょう。

京都での滞在と神戸でのキャンプの間、とてもたくさんの所を訪ねました。金閣寺、愛宕山、兵庫赤十字血液センター、嵐山、京都タワー、四条でのお買い物等です。大阪への旅では、水族館とユニバーサルスタジオへ行きました。そして私は生け花を少しとお習いしました。

私はとても楽しい時間を日本で過ごしました。ただ文化や言葉だけを学ぶだけでなく、新しいつながりを私のホストファミリーや新しくできたお友達と結ぶ事ができました。私は、この旅を可能にしてくれたライオンズクラブや私のホストファミリーに感謝の意を表したいと思います。





## 感動がてんこ盛り

アマンダ・マーガレット・ハンフリーラッシュ (ニュージランド)

Amanda Margaret Humphreyrush

第一ホストファミリー…藤山 嘉英  
第二ホストファミリー…林 孝治ホスト…京都堀川LC  
ホスト…京都洛陽LC

私の冒険は、2007年12月8日バーマストーン・ノース・エアポートを飛び立ったときから始まった。

家族や友人と離れるのは寂しく、不安と期待で一杯だった。オークランドから大阪までの11時間も、他の派遣生とのすばらしいトークタイムであった。

大阪空港に降り立ったときは、初めてきたわけでもないし、日程も最後までわかっていたし、習慣も十分承知しているつもりであったにもかかわらず、とても不安で孤独だったけれども、ホストファミリーの迎えを受け、とても落ち着き寛ぐことができた。

第一ホストファミリーの皆さんはすばらしく、事あるごとに私の希望を聞いてくださった。

1日目は、清水寺の緑で覆われた景色とお土産物屋でのショッピングを楽しみ、ショッピングが止まらなくなってしまった程度だ。

毎日が楽しく興味深い事ばかりであったけれども、特にアイスクリームはハイライトの中の一つであった。

私は、初めてであったので、最初はリンクの縁につかまって、ファミリーをはじめとして中央をブンブン回る人達を眺め

キャンプを終え京都に帰ったときはほっとしたが、もうニュージランドへ帰るのかのように荷造りをしなければならなかったり、すばらしい第一ホストファミリーと別れなければならぬ事も悲しかった。

けれど、第二ホストファミリーと会うや否や私の気持ちも落ち着いた。数日後、富士山の近くの静岡市に私を同行してくださった。そこに1週間滞在し、毎朝す

ばらしい富士山を目にすることができた。又そこで、以前に会ったオーストラリアからの派遣生と再会した。大晦日には、部屋の窓から巨大な花火を観賞し、元旦は寺院へ行き、とても多くの人々が出てきていて驚いた。そして、デビュー博物館に行ったとき、初めて雪を触ることができ、とても興奮した。多くのところを見物した中でも、サファリパークはライオンや熊・象など多くの動物を見ることができ、とても楽しいひとときだった。

京都に戻り、第二ホストの娘さんのお宅にお邪魔することとなり、適当な休息とショッピングを楽しみ、更に多くの愛すべき方々と会うことができた。

最後の週末は、海岸で過ごした。夏だともっと多くの時間海辺で過ごせるのに少し残念だったけれども、冬の海もとてもきれいだ。三重のいくつかの

神社を見学し、又、水族館では今まで見たことのない動物を見ることができた。

ニュージランドへ帰る飛行機の中の14時間は、帰り着く安堵とすばらしい日本と日本人々との別れが悲しく、複雑な気持ちだった。

日本での滞在は、色々経験したが、どれもとても楽しい時を過ごすごことができたし、日本や日本の習慣を多く学ぶことができた。私は3ホストファミリー(藤山さん、林さん、西本さん)の方々は、皆さん魅力的な方ばかりで、お陰さまでとてもすばらしい滞在であった。心より感謝している。尚、滞在中ご招待いただいた堀川LCをはじめとする関係各ライオンに心より御礼申し上げます。

又すぐに京都を訪問し、皆さんにお会いできる日が来ることを心より願っております。どうも有り難うございました。



## 私の京都での素晴らしい21日間

アン・フエイ・シャーン (マレーシア)

Ang Huey Shan

第一ホストファミリー…福田 善之  
第二ホストファミリー…土手 英範ホスト…京都醍醐LC  
ホスト…京都洛東LC

まず最初に醍醐ライオンズクラブ、洛東ライオンズクラブ、福田ファミリー、土手ファミリーに初めて日本に来て空港に降り立った日に私をとても温かく迎え入れてくださった事にお礼を申し上げます。日本の天候はマレーシアより寒いですが、皆さんのおもてなしが私を少し温めてくれました。こんなに歓迎されたのは初めてでした。皆さんにして頂いた事はただの「ありがとう」では表せないほどの温かいものでした。

私はいつも自分自身で今回日本を訪れた目的はただの観光だけではなく、違う国の文化を学んだり、交流をもってお互いに理解する事にあると忘れないでいました。おそらく、これが私のただ一つの交換留学生として成果を収める方法であったと思います。日本での滞在中、たくさん新しい事や日本の素晴らしい生活を体験しました。そして、最後には日本にとっても親しみを持つようになりました。それは人、言葉、文化、食事等です。

日本の人々はとても礼儀正しいです。お世辞というのとは日本のメジャーなエチケットのひとつです。しかしながら、ただお世辞だけでは充分でなく、彼ら

日本の新年は毎年1月1日です。私は日本で2番目のホストファミリーの土手ファミリーと新年をお祝いできる事とてもうれしく思いました。土手ファミリーはレストランとホテルを経営しており、新年を迎える前はとても忙しい日々を過ごしていました。例えば、清掃をしたり、たくさん新年のカードを書いたり等です。12/30には私のホストファミリーが彼の友人宅に連れて行ってくれ、餅を作りました。私は新年の美味しい食事がどんな風に作られるのか学ぶ事ができました。

ライオンズクラブのアレンジで、私は日本の着物を着るチャンスがあり、たくさん写真をは着物というものがとても豪華ですが着るのは少し難しいと知りました。私は普段の自分自身

キャンパスを終わる京都に帰ったときはほっとしたが、もうニュージランドへ帰るのかのように荷造りをしなければならなかったり、すばらしい第一ホストファミリーと別れなければならぬ事も悲しかった。けれど、第二ホストファミリーと会うや否や私の気持ちも落ち着いた。数日後、富士山の近くの静岡市に私を同行してくださった。そこに1週間滞在し、毎朝すばらしい富士山を目にすることができた。又そこで、以前に会ったオーストラリアからの派遣生と再会した。大晦日には、部屋の窓から巨大な花火を観賞し、元旦は寺院へ行き、とても多くの人々が出てきていて驚いた。そして、デビュー博物館に行ったとき、初めて雪を触ることができ、とても興奮した。多くのところを見物した中でも、サファリパークはライオンや熊・象など多くの動物を見ることができ、とても楽しいひとときだった。



より重くて大きくなるまで、たくさん紐と布をつけなくては いけませんでした。いつもより 太って見えていました。そして、 着物を着ると、歩くスピードが 遅くなりました。ですが、着物を 着て撮った写真を見たとき私 は満足しました。

日本には四季があります。私 は日本の冬を体験しました。マ レーシアの気候は1年を通じて 暑くて湿気が多いです。その為 マレーシアには雪が降りませ ん。日本では冬には雪が降ると の事でしたが、残念ながら世界 的な温暖化で今回の滞在中には 雪を見ることは出来ませんでした。

Young Campに参加する機会が ありました。そのキャンプの3 日間であくさんの違う国の友達 と会うことができました。さら に私は姫路城、兵庫赤十字血液 センターとルミナス神戸を訪れ る事ができました。気候はとて も寒く私は疲れ気味でしたが、 それでもとても興奮しました。 それとは別に、日本での滞在 の間、私は京都でもたくさんの 観光スポットをホストファミリ ーと共に訪ねました。金閣寺や 平等院、鳳凰堂、北野天満宮、 清水寺、京都タワー、高台寺そ の他。そして2番目のホストフ アミリーと大阪も訪ねました。 そして又習字を習う機会もあり ました。

時間は矢の様に過ぎるもので 12/20にはライオンズクラブ のアレンジで神戸のWinter



オンスクラブ、福田ファミリ ー、土手ファミリ ーそして私の優しい友人たち 全てのの人に、もう一度 感謝の意を述べたいと思 います。あなた達は本当 にとても私に良くして下さ いました。どんな言葉でも言い表すことはでき ません。私は私の休日を とても楽しく過ごしまし た。日本は素晴らしい国 です。私はもう一度機会 があれば訪れたいです。 私はこの素晴らしい京都 の21日間を、いつまで も何があってもいつも思い出す でしょう。

International Committee 醍 Arigato Gozaimasu! Sayonara Kyoto!

## 日本にふれて

モイ・ゼン・ウェイ(マレーシア)

第一ホストファミリィ... 榎本 稔一  
第二ホストファミリィ... 川口 正様

ホスト... 京都パレスLC  
ホスト... 京都淀LC

私はマレーシアから来たJ-274所属、交換学生生のMoy Zhen Weiです。私は12月16日に日本の関西空港に到着してから2008年1月6日まで日本に滞在し、日本滞在中は2つのホストファミリィにお世話になりました。

私にとって日本に来るのは初めてのことでした。日本に来る前、私はただ映画や雑誌、日本にいた人々の話を通して日本を

知ることができました。

日本滞在中、私は日本にすばらしいものや学ぶべき日本の文化がある事に気づきました。日本人の人は福祉に考慮し、時間を守り、とても正直で礼儀が正しく、仕事に対して一生懸命です。私はすべてのYEがそのことについて学ぶことはいいことだと思っています。

このプログラムで一番印象的だったのは3日間のユースキャ

ンプです。神戸の有名な城に行く機会もいただいた上に、様々な地域からの人々と知り合うことができ、このキャンプは私にとって有意義なものになりました。

私はこのYEプログラムでも有意義な時間を過ごすことができました。今まで日本の文化を知る機会がなかったのでもううれしく思っています。このプログラムを与えてくださったライオンズクラブの方々、



## 冬期YE派遣学生 帰国レポート

### 冬季YEクロアチア派遣

島村 悠吾

スポンサークラブ... 京都京洛LC  
派遣先... クロアチア

この度は、私の人生の中でも貴重な体験をさせて頂きました。まずは、この機会を設けて下さった全てのライオンズの方々にお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございます。

私は、クロアチアでは、スプリット、ザグレブ、ヴィロヴィティツァという3箇所をホームステイをしました。どこも気候や料理は違いましたが、共通している点は、クロアチアの人々が、本当に優しいということです。ホストファミリィの方々は、私をいろいろな所に連れて行っ

て下さり、また何かしたい、例えば買い物がしたいなどと言った、すぐに願いを叶えて下さいました。ホストファミリィ以外の方も、私のことを歓迎して下さい、







## ニュージーランドで得たもの

寺本 阿希子

スポンサークラブ：京都京洛L.C.  
派遣先：ニュージーランド



初めてのニュージーランド。約3週間というこの旅の中で、ホームステイという環境においていただいたことで、日本との文化の違いをたくさん知ることができました。

まず、家庭の役割。日本では、まだまだ母親が育児・家事をしているイメージが根強くあり、実際にもそういう家庭が多くあるように感じます。しかしニュージーランドでは、家事の役割分担を決めた上で、お互いが協力する姿が多く見られました。父親は、皿洗い・洗濯・育児などの仕事をされていました。特に驚いたのは、育児の面での父親の働きでした。私がステイした家族には2歳に満たない子ども

もがいました。

その子のおむ

つ・お風呂・飲み物その他いろいろなものに

関わることを、お父さんがやっておられました。

このように協力して、家庭を作っていくのが、理想の形であると感じさせられました。

そして、祝日の迎え方の違いです。特に、新年の迎え方の違いに大変興味を持ちました。日本では、大晦日までに家の中を掃除し、おせち料理を作り、静かな気分

で新年を迎え、ゆっくり

から夜は遅くまで、親戚や友達を呼んでパーティーが開かれて、すごく賑やかな一日でした。

日本では、クリスマスに家族親戚が集うことがあまりないので、とても驚きました。逆に、正月は特に何もなくて、いつもと

変わらぬ一日でした。これも、日本とは大きく違うところだと思いました。

オーストラリアに行き感じ

たことはたくさんありますが、特に、英語で気持ちを伝えることの難しさと、日本の素晴らしさを強く感じました。他

国に行き、初めて日本の良さに気づき、誇りが持てました。本当に、留学してよかったと思っています。今回の経験を生かして、これからの大学生活に役立てていければいいなと思います。

ありがとうございます。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。

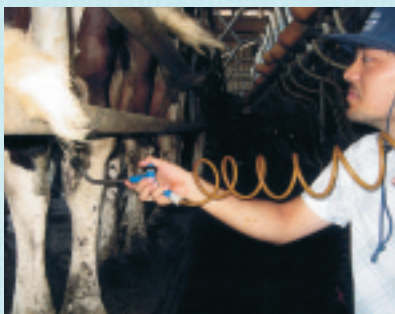
ありがとうございました。



## ホームステイ

坂野 秀樹

スポンサークラブ：京都天神川L.C.  
派遣先：オーストラリア



私は今回のホームステイでオーストラリアの人々の生活についていろいろなることを知ることができました。例えば、オーストラリアの人たちの電気の消費量は非常に少ないということです。これは一番印象的だったのですが、ホストファミリーは夜になってもほとんど照明を消しませんでした。暗い中でご飯を食べ、暗い中でテレビを見ます。また、他にも日中はエアコンを使わずに室温を低く保つ知恵を教えてくれました。家中のカーテンを締め切って日光が差し込まないようにしたり、火を使う料理をしないようにすることで室温が上がるのを防ぎます。そのおかげで晩ごはんはかなり質素に見えるときもありましたが、オーストラリアの生活を本当に満喫できたと思います。

他に印象的だったことは、星が本当にきれいだったことです。あれほど明るい星を大量に見たのは初めてでした。オーストラリアに行ったときには是非見て欲しい景色です。非常に貴重な体験をさせていただけて本当に良かったと思います。



ありがとうございました。



## オーストラリア留学を終えて

西野 碧

スポンサークラブ：京都桂L.C.  
派遣先：オーストラリア

私は、今回のオーストラリアが初めての海外でした。最初は、不安と期待で胸がいっぱいで、とても複雑な気持ちでした。しかし、オーストラリアの空港に着くと、ホストファミリーの方々が温かく迎えてくださって、不安はすぐに吹き飛びました。

向こうでは、毎日がイベントでした。私は3つの家族にお世話になったのですが、どのホストファミリーも、毎日きっちり

計画を立ててくださって、まるで、観光に来たみたいで日々でした。

私の行った時期がちょうど、クリスマス・正月が重なっていたので、とても楽しい思い出ができました。

クリスマスの日、朝早く

から夜は遅くまで、親戚や友達を呼んでパーティーが開かれて、すごく賑やかな一日でした。

日本では、クリスマスに家族親戚が集うことがあまりないので、とても驚きました。逆に、正月は特に何もなくて、いつもと



ありがとうございました。

冬期Y.E.派遣学生  
帰国レポート







## ニュージーランドで学んだこと

佐藤 亜美

スポンサークラブ：京都嵐山LC  
派遣先：ニュージーランド



トに、畑で収穫した野菜をホストファミリーが売りに行くのを手伝ったりしました。このような、普通ではなかなか体験出来ないことを、たくさんしてきました。またホストファミリーは、ライオンズクラブのメンバーの方で、たくさん現地のライオンズクラブのメンバーの方々と交流でき、ライオンズクラブの国際的な規模の大きさを改めて感じました。

私は、ニュージーランドにあるハミルトンというところに、ホームステイしていました。この2週間での生活は、とても毎日が充実していて、日本に帰るのが惜しいほどでした。

ハミルトンというところは、ニュージーランドで4番目に大きな都市でニュージーランド国内最長のワイカト川に貫かれていて、国内有数の農業・酪農が、たくさんあるところでした。

私のホームステイしていた家族は、農業をしており、畑で育った野菜は、スーパーマーケットで買ったのと比べものにならないくらい美味しくて、新鮮で、町内で生まれ育った私には、とても特別でした。土曜日と日曜日になると、町にあるマーケット

ある日、ハミルトンライオンズクラブの方に、ロトルアに連れて行ってもらいました。ロトルアは、とても賑やかで、たくさんの方が仮装していたので、「今日は、何かあるんですか?」と聞くと、「今日は、ここでパレードがあるんだ」とハミルトンライオンズクラブの方が答えてくれました。私は、期待と希望に胸をふくらませながら待っている、マオリ族の方々が船に乗って登場したと思うと、サンパを踊っている方が来て、次々にさまざまな国の代表的な踊りがその国々の人によって踊られており、最後のほうになっていくと、アジアの様々な踊りがあり、その中にも日本の方が



## オーストラリアで気づいた!

高橋 沙織

スポンサークラブ：京都淀LC  
派遣先：オーストラリア

12月20日から約3週間、オーストラリアのバンダバーグという所でホームステイをさせていただきました。

(バンダバーグ)

バンダバーグは比較的田舎の町で、家の前にはマカダミアナツツの木が広がっていました。さらに歩いて5分ほど行けばマングローの木、サトウキビ畑、パインアップル畑がありました。

(二日の流れ)

6時に起床、朝ごはんを食べ、その後観光や買い物に行きました。昼からは家のプールに入ったり、晩御飯の準備をしたり、芝刈りを手伝ったりしました。晩御飯は決まって5時から食べ、6時からお風呂に入り、7時には就寝する、という毎日を送っていました。



(食事)

牛肉、豚肉、鶏肉がメインで、野菜はイモ類が多かったです。

(一番楽しかった事)

オーストラリア動物園に行ったことです。初めてコアラとカングルーに出会い、大変良い経験をさせていただきました。

(一番辛かった事)

お風呂に「2分で入れ」と言われたことです。日本では30分以上入るので2分では入るのは非常に難しかったです。しかし、オーストラリアは大変な水不足な

ので、環境について肌で感じさせられました。

(まとめ)

毎日新しい発見をし、本当に楽しい日々を過ごし、ホームステイは私を大きく成長させてくれました。オーストラリアで気づいた事は、日本の人や食べ物や製品はとても素晴らしいということです。海外もいいのですが、やっぱり日本が一番だと気づくことが出来ました。

最後になりましたが、ノンライオンズである私に多大なご支援とご協力をしてくださったライオンズクラブの皆様本当に感謝しております。ありがとうございました。



冬期Y.E派遣学生帰国レポート





# CABINET

## 薬物乱用防止教育 認定講師養成講座開催

3月4日(火)・キャンパスプラザ京都

標記講座が2008年3月4日(火)13:00~17:00の間「キャンパスプラザ京都」に於て、ライオンズクラブ国際協会3351C地区須藤眞志ガバナーご出席のもと、3351C地区100名弱のご参加を頂き開催された。

当日は、須藤ガバナーのご挨拶に続き、京都府薬務室長川原崎功様のご挨拶があり、その後講座が始まった。

薬物乱用防止教育ビデオを観た後、3331B地区土浦環LCのメンバーでもある医学博士の万本盛三氏より、医学的見地からの薬物乱用の恐ろしさのご説明があった。

その後、京都府警察本部刑事部組織犯罪対策第三課調査官の和泉治男警視より、麻薬・覚醒剤の検挙状況の説明があり、休憩に入った。

休憩をはさんで、京都府薬

務室眞田正稔副室長より、京都府における薬物乱用防止啓発活動についての講義があり、覚醒剤などの薬物乱用防止の啓発の必要性を主に述べられた。

次に、京都翔英高等学校副校長で京都やわたLCのメンバーでもある上足達靖彦より、本日受講したメンバーに是非自分の体験を含めて、地域の学校などで薬物乱用防止について講演して欲しいというお願いがあった。

講座の最後に「ライオンズクラブ国際協会における薬物乱用防止活動の実践」という題で、330複合地区薬物乱用防止副委員長の寺田義和(330A地区東京鷺谷LC)より、何故子供達に薬物乱用の恐ろしさを伝えなければならぬか、ライオンズクラブの存在意義を考えていた

だきたい旨の講義があった。閉講式では(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長阿部俊三氏より講評の後、須藤ガバナーより代表者に修了証の伝達があった。

最後に、地区青少年指導・レオ委員長L森重雅彦より謝辞があり終了した。

「薬物乱用は脳を破壊する。破壊された脳は元には戻らない」という事を心に刻んで講座を終りました。

参加された会員・役員のみならず有難う御座いました。ご苦勞様でした。

地区長期計画・リサーチ・会員・リテンション・エクステンション委員長 高山義則



## 第2回フレッシュライオンセミナー

3月5日(水)



にボトムアップし多少フエスティバル的な要素をも加え、入会後5年未満の各会員が強い連帯感を構築できることを目標に開催されました。

2部構成となったセミナーは、第1部にMERL委員会委員長よりの開催趣旨説明から始まり、335複合地区会員・リテンション・エクステンション委員長L杉山修氏からセミナー参加者に励ましの講演を頂き、とても解りやすく参加者は聞き入っていました。

そしてメインのセミナーに入りましたが、今年度は3351C地区の地区キャビネット幹事のご経験者L佐々木晋一・L秋山泰行と現役地区キャビネット幹事L林孝治をパネラーとして招き、コーディネーターに3351C地区長期計画・リサーチ・会員・リテンション・エクステンション委員長L高山義則の4名で開催されました。解りやすく、皆さんのライオンズに対する心の持ちようなど素敵な話が飛び交っており

ました。これから多くのライオンズライフの中で試行錯誤されるであろう参加会員には大きなエールとなり、必ず良きリーダー



内容は、入会後5年未満の会員を対象にドロップを防止し、今後の良きリーダーとしてライオンズクラブを更に理解し活動に生かしていただくためのセミナーであります。前年度のセミナー後のリサーチによっても、セミナー受講者のドロップ率の超低下と意識高揚が確認でき、今回は更





大島理事長開会挨拶



3月27日(木)・高台寺  
桜の花も満開を迎える頃、京都東山の高台寺境内にある「アイバンク愛の光碑」前に於て、第10回「愛の光感謝の集い」が開催されました。100名近い参加者があり、昨年1年間に貢献いただいた38名の方々に感謝を捧げご冥福をお祈りしました。

式典のご挨拶では、アイバンク愛の光基金管理会の大島理事長より、この碑は平成10年京都東ライオンズクラブ35周年記念に建立され当会に寄贈された事のご紹介や、当地区のライオンズクラブ様の多大なるご支援に感謝の言葉が述べられました。

参加者は献眼者のご遺族をはじめ、移植を受けた方々も参りに見え、この碑が当地区のアイバンク活動の拠点となり、角膜移植の推進につながる事を願っています。



外園先生



## ライオンズ家族ぐるみの奉仕及び女性委員会シンポジウム

4月13日(日)・京都ホテルオークラ



磯辺委員長



曾野綾子様による講演

4月13日(日)、女性委員会主催で初めての集いを開催させて頂きましたところ、645名を超えるご参加を賜り心より厚く御礼申し上げます。年次大会等引き続き、大変スケジュールの混み合ったことになってしまいました。

「受けることと与えること」と題して大変貴重な講演をいただきましたと感謝致しております。この講演を振り返って、もう一度自分自身の生き方を考えてみようと思われました。ご協力頂きました皆様、誠に有り難うございました。

でも参加して頂き、また心より嬉しく存じます。これらのライオンズは男女問わず政治や宗教やあらゆる垣根を取り払って、全ての人々を尊重し社会の為に一つになって協力する体制づくりが必要と考えます。もう一度ライオンズ精神に立ち戻り意識改革をする時ではないでしょうか。この度の講演は



なんと645名強

3/25~3/27 335MD・300MD 姉妹締結28周年

## 台湾・台北を表敬訪問!

友情をはぐくみ、絆を深め、再会を誓う!



空港にて熱烈歓迎



しばし童心に帰って



友情を込めて



歌声が聞こえてきそうです



かんぺ〜!